

工業部会通信

(発行)
相模原商工会議所工業部会

(編集)
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL: 042 (851) 2021
FAX: 042 (851) 3532

プリントしてご自由にお読み下さい。

工業部会運営会議を開催 活動計画など協議

副部会長7人体制に ロボット関連事業も

相模原商工会議所工業部会は19日、商工会館役員会議室で、26年度の活動内容などを協議する「運営会議」を開催した。副部会長の1人に4月に相模原市青年工業経営研究会(青工研)の今年度会長に就任した渡辺将文・MEMOテクノス(緑区西橋本)社長を選任する人事案などを示した。一方、今年度事業として、「さがみロボット産業特区」関連で、ロボット関連企業や研究開発機関とのネットワーク化を進め、会員企業の同分野参入を後押しする。

表彰候補者も選定

同会議では、昨年度の工業部会の活動報告や今年度部会事業の実施計画などの説明があった。一方、今年度の部会役員も選任。甲斐美利部会



活発な議論が交わされた運営会議



今年度の活動計画などを協議

長(向洋技研社長)をトップに、副部会長に松岡康彦・湘南デザインCCEO、山崎利宏・城山工業

TRYプロ ロボット技術の 見学ツアー開催

相模原商工会議所・工業部会TRYプロジェクト(杉本祥一委員長・ハリスポット社長)は5月20日、ロボット技術を実験する「未来技術視察バスツアー」を開く。同ツアーでは、筑波大学発のベンチャー企業、サイバーデザインがプロデュースするサイバーダイナミクススタジオ(茨城県つくば市)を訪れる。

施設内では、サイボーグ型ロボット「HAL(ハル)」などの最新テクノロジーを紹介する。その後は、会場を産業技術総合研究所(産総研、同)が運営するサイエンススクエアつくばに移す。産総研が開発した「ヒューマノイドロボット」、アザラシ型のメンタルコミットロボット「パロ」なども展示されている。視察終了後は、懇親会も開く予定。

カービューティーサービス 新店舗を全国展開へ

工業会員情報

ポリマー加工や洗車などの自動車の総合アフターメンテナンスを手掛ける、カービューティーサービス(工業部会会員企業、相模原市中央区)は、運営店舗の全国展開を始める。4月下旬に厚木市妻田

東に新店舗をオープンさせたのを皮切りに、2019年度までに全国直営100店舗、フランチャイズ(FC)500店舗、同社の株式上場も目指す。

同社が運営する店舗「カービューティーパーク」は相模原市内に本店を持つ。独自のポリマー

も限りがある。山本社長はそこに目を付けた。「洗車は床屋さんと一緒に。定期的にを行うので来店頻度が高いです。まずは来店してもらい、そこからポリマー加工や板金塗装なども提案します」と山本社長。クルマのワンストップサービス「目指すことで、顧客の困り込みが可能になる」という。

なお、同社本店の営業時間は午前10時午後7時(平日)。土日祝は午前9時午後7時まで。(かながわ経済新聞社)

SC相模原サポート自販機 設置協力企業を募集

SC相模原

売上の一部がサポート資金に!

自販機サポーター様

相模原生まれの「さがみの潤水」が自動販売機に入ります!

潤水

アサヒカルピスビバレッジ(株)

自販機管理・運営

自販機イメージ

相模原商工会議所は、「SC相模原サポート自販機」の設置協力を呼び掛けている。自動販売機の売り上げ(1本あたり3円)をSC相模原の運営資金に充てる。また、同販機で「さがみの潤水」を販売し、市のシテイセールスを推進していく。自販機はアサヒカルピスビバレッジが運営。省エネタイプを設置するという。問い合わせは、共済検定課042(753)8134まで。

分家松若流五十周年記念

松若まゆ多恵

心燃えて...あなた



演目

大和楽 江島生島

心燃えて...あなた

石川さゆりを綴る

特別出演

花柳 基

平成二十年芸術選奨
文部科学大臣賞受賞

六月七日(土) 午後四時開演

会場 相模原市民会館大ホール

問い合わせ 松若流舞踊研究所

TEL・FAX 〇四二一七五二一〇二三三

(火・木 午前十時〜午後五時)